

肛門の手術を受ける方の入院診療計画書 仙骨・腰椎麻酔用
様

主治医 _____
担当看護師: _____

入院日: ____月 ____日
病棟: ____棟 ____階

特記事項:

症状説明: あなたの病名は、痔(内痔核、痔ろう、裂肛等)です。手術治療を行います。
入院期間は約4~5日間です。

退院基準: 痛みをコントロールできる・出血がない

	入院(手術前日) ~ (/)	手術当日 (/)	手術当日(後)	術後1日目 (/)	術後2日目 (/)	退院日
検査・治療・処置	<ul style="list-style-type: none"> ●午前手術の場合は、左手に点滴用の針を留置します。 ●リストバンドを付けます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●朝7時頃洗腸を行います。 ●手術室入室30分前に排尿を済ませ手術着に着替えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●手術直後は30分毎に検温し、その後は夕方検温を行います。 ●ガーゼの観察を行い、必要時交換します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●体温・脈拍・血圧を朝・昼・夕に測ります。 ●午前9時ごろより医師、看護師による回診を行います。 ●消毒はせず、ウォッシュレットで洗浄し、創部にナプキンを使用します。 ●点滴終了後、針を抜きます。 ●創部の状態により退院日を決定します 	<ul style="list-style-type: none"> ●体温・脈拍・血圧を1日2回測ります。 ●回診時、傷の観察をします。 	<ul style="list-style-type: none"> ●回診時、傷の観察をします。 
薬剤	<ul style="list-style-type: none"> ●普段内服している薬がありましたら教えて下さい。 ●下剤2錠を夜9時にお飲みください。 ●眠れない場合は教えて下さい 	<ul style="list-style-type: none"> ●朝6時頃から点滴を始めます。(午後手術の場合は朝10時からです) 	<ul style="list-style-type: none"> ●点滴を行います。 ●食事開始後より飲み薬が始まります。 ●痛みがある時は痛み止め、熱がある時は解熱剤を使う事があります。 ●吐き気があれば看護師にお知らせ下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●回診後または排便後より坐薬(肛門注入薬)を使用します。(坐薬は腫れ、痛みを徐々に鎮めます) ●下剤の内服が始まります。 		
安静度、リハビリテーション	<ul style="list-style-type: none"> ●病棟内歩行できます。 		<ul style="list-style-type: none"> ●手術後、看護師が付き添い歩行します。問題なければ以後制限なく、病棟内自由です。 	<ul style="list-style-type: none"> ●病院内歩行できます。 		
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ●制限はありません 					
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ●手術する部位の毛を剃ります。その後、入浴・シャンプー・爪切りを済ませてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●時計、アクセサリ、入れ歯、指輪、ヘアピンは前もって外し化粧、マニキュアはやめて下さい 	<ul style="list-style-type: none"> ●背部清拭 	<ul style="list-style-type: none"> ●背部清拭 	<ul style="list-style-type: none"> ●シャワー浴の許可がでます。 	
食事栄養管理	<ul style="list-style-type: none"> ●食事は、夕食まで食べられます。 ●特別な栄養管理 (<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無) 	<ul style="list-style-type: none"> ●朝食は摂ることはできません □午前手術の場合、朝6時より水分を摂ることはできません □午後手術の場合、朝8時より水分を摂ることはできません 	<ul style="list-style-type: none"> ●手術終了後、帰室時より食事・水分を摂ることができます。 ●普通食が食べられます。制限はありません。 			
説明指導教育	<ul style="list-style-type: none"> ●<手術の必要物品> ナプキン(手術後に使用します。) ●病棟の案内をします。 ●手術前後の経過について説明します。(主治医・看護師) ●手術室看護師の訪問があります。 ●薬剤師から薬の説明があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●※手術室に入室する時刻(____時 ____分の予定) ●※ご家族の方は、手術が始まりましたら、A棟5階食堂でお待ち下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●※ご家族の方、本人へ主治医から手術結果の説明があります。看護師が案内します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●退院後の生活指導 ●坐薬(肛門注入薬)の使用方法を説明します。 ●最初は腫れ、痛みがあり坐薬(肛門注入薬)を自分で入れるのは難しいですが、徐々に入れる練習をしましょう。 ●ウォッシュレットは排便時だけでなく最低朝・昼・夕・寝る前に使用しナプキンは汚れたら適時交換することで創部を清潔に保ちましょう ●手術室看護師の訪問があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●お尻を清潔に保つように心がけましょう。 ●ウォッシュレット又はペットボトルを利用してお尻を洗い流しましょう ●規則正しい食生活を心がけ便秘を予防するようにしましょう。 ●わさび・コショウ・からしなどの香辛料はほとんど消化されないまま便として排泄されるため、肛門を刺激するので摂りすぎに注意しましょう。 ●仕事などは退院後、徐々に始められます。長時間車の運転をするなど肛門を圧迫することは、なるべく避けましょう。 	

この用紙は入院時に必ずお持ちください。

京都桂病院 消化器センター 2015.8.25 Ver.3-1

この内容について説明を受けました。(署名) _____

説明した看護師 _____